平成30年度
宮崎県バスケットボール協会
U12部会
総　会　資　料

会　次　第

１　開会のことば
２　あいさつ
３　議長選出
４　議事
（１）　平成29年度　事業報告
（２）　平成29年度　決算報告ならびに監査報告
（３）　平成30年度　U12部会役員（案）
（４）　平成30年度　事業計画（案）
（５）　平成30年度　予算（案）
（６）　その他（規約改正を含む）
５　各部・各担当より（全国理事会報告、登録、審判、県会長杯、確認・報告等）
６　閉会の言葉

日時：平成30年５月20日（日）17：00～

会場：宮崎市北部記念体育館会議室

宮崎県バスケットボール協会U12部会

宮崎県ミニ連　　平成29年度　事業報告

月	主催・主管大会	スポーツ少年団他	全国・九州大会他
4			
5			
6	17日（土）、18日（日） 第31回県会長杯 高崎体育館他		24日（土）、25日（日） U12ブロックエンデバー講習会 佐賀市春日北小
7		15日（土） 宮崎県スポーツ少年団中央大会 綾てるはドーム	
8	19日(土)、20日（日）、27日（日） 第41回宮崎県交歓大会　兼 第10回フープスターサカイカップ 佐土原体育館他	25日（金）～27日（日） 九州ブロックスポ少大会 福岡県 江南ミニバス優勝	
9			
10			
11	3日（金）祝日 第2回秋季大会 佐土原体育館他 18日（土）、19日（日）、23日（金）祝日 第34回全国・九州大会宮崎県予選会 佐土原・高崎体育館		
12	16日(土)、17日（日） 第2回宮崎県地区別対抗戦 綾てるはドーム		
1			6日(土）～8日(月） 全九州大会 別府アリーナ、ダイハツアリーナ
2			17日(土)、18日(日） U13ブロックエンデバー講習会 熊本市
3	21日（水） U12DCトライアウト 山之口体育館	10日（土）、11日（日） UMKスポーツフェスタ 綾てるはドーム	27日(火）～30日（金） 全国交歓大会 高崎アリーナ

全九州大会・・・南方女子ベスト8、清武男子、江南男子、都城東女子予選敗退

全国交歓大会・・・南方女子1勝2敗、清武男子3敗

宮崎県U12部会　平成30年度　事業計画案

月	主催・主管大会	スポーツ少年団他	全国・九州大会他
4			
5			
6	23日（土）24日（日）30日（土）7/1(日） 第32回県会長杯リーグ戦 延岡市民体育館、山田体育館他		
7		14日（土） 宮崎県スポーツ少年団中央大会 綾てるはドーム？	
8	25日(土）26日（日）9/1(土)9/2(日） 第42回宮崎県交歓大会　兼 第11回フープスターサカイカップリーグ戦 山田、山之口体育館他	17日（金）～19日（日） 九州ブロックスポーツ少年団大会 綾てるはドーム、綾町立体育館	
9			
10			
11	3日（土）祝日 第3回秋季リーグ戦 宮崎市内小学校体育館 23日（金）、24日（土）、25日（日） 第35回全国・九州大会宮崎県予選会 早水体育文化センター		
12	15日(土）、16日（日） 第3回宮崎県地区別対抗戦 綾てるはドーム		
1			12日(土）～14日(月） 全九州大会 玉名市
2			
3		9日（土）、10日（日） UMKスポーツフェスタ 綾てるはドーム？	26日(火）～29日（金） 全国交歓大会 高崎アリーナ

平成30年度　宮崎県バスケットボール協会U12部会役員（案）

会長	山川　裕彦		
副会長	堀内　泉	栗栖　健治	佐藤　真司
理事長	河野　光治		
副理事長（育成強化）	兒玉　哲美	副理事長（企画運営）	岩元　真史
事務局長（総務委員長）	上米良　剛	事務局次長（総務副委員長）	本薗　忠士
財務委員長	福田　紀代美	財務副委員長	堀内　幸・岡田　美菜子
接待委員長	北林　順子	接待副委員長	井上　華澄
式典委員長	外村　哲史	式典副委員長	久保　真幸
記録・報道委員長	上米良　剛	記録・報道副委員長	上園　真輝・谷口　知美
競技委員長	浅利　敏彦	競技副委員長	久木山和愛
会場委員長	安藤　正弘	会場副委員長	堀之内　豊
TO委員長	川﨑　健	TO副委員長	外山　和彦
地区理事（県北）	内山　大（延岡）	岩切　勇二（日向）	安藤　美徳（西都・児湯）
地区理事（県央）	小泉　智貴（宮北）	甲斐　修二（宮南）	
地区理事（県南）	山川　和彦（都城）	富永　紘光（日南）	
スポーツ少年団	中武　育大	UMKスポーツフェスタ	原田　賢次郎
コミッショナー委員長	酒井　朋弘	コミッショナー副委員長	松浦　侑典
審判委員長	笠　真人	審判副委員長	児玉　晃太
DC　U12　総括	堀内　幸	U12　男子担当総括	是枝　隆志
		U12　女子担当総括	酒井　朋弘

「チーム」「選手」の登録について

１　チーム・選手一括登録の流れ

○　チーム・選手登録

- 新規…チーム登録ガイド
- 継続…年度更新後の登録手続きガイド

※　チーム名称を正確に行ってください。

※　チーム責任者が、新規に選手の登録を行う場合は「代理登録に関する委任状」が活用できます。

※　パスワードは全員同じでよい。

※　チーム代表者が変わるときには、チーム ID とパスワードの引き継ぎを確実に行ってください。また、登録証を印刷し、本人へのメンバーID を知らせてください。（小中の引き継ぎ）

※　詳しくは、ＴｅａｍＪＢＡ概要　登録ガイド（取扱説明書）参照

○　その他

- 日本バスケットボール協会に登録したことで、同時に宮崎県バスケットボール協会及び宮崎県ミニバスケットボール連盟に登録したことになります。

２　登録費の振り込み方法について

○　日本バスケットボール協会及び宮崎県バスケットボール協会・宮崎県ミニバスケットボール連盟への登録費

- 新システムに従いローソン・ファミリーマート・郵便局ＡＴＭ・セイコーマートで行ってください。チーム加盟料・競技者登録料の支払いは３０日以内です。また、請求書には合計金額のみですが、納付履歴の画面で加盟料・登録料とその内訳が表示されます。
- チームや選手を申請すると、県ミニ連が承認を行います。承認後、上記に従い登録費を振り込んだ時点で本年度の登録となります。

※　３０日以内に振り込みを行わなかった場合、登録に関わる申請作業を再度行ってください。

○　登録費の内訳

- チーム登録費…１チーム　3000 円（日本バスケットボール協会 2000 円，宮崎県バスケットボール協会 1000 円）
- 選手の登録費…4～6 年生　１人　1200 円（日本バスケットボール協会 800 円，宮崎県バスケットボール協会 400 円）

　　１～３年生　１人　400 円（宮崎県バスケットボール協会 400 円）

３　追加登録について

○　追加登録も、随時、Team JBA にて行うことができます。

４　登録の考え方

①　チームの登録について

宮崎県ミニバスケットボール連盟と宮崎県バスケットボール協会および日本バスケットボール協会に登録したチームのみが，県協会主催・県ミニ連主管の大会（県会長杯，県交歓大会兼フープスターサカイ杯，秋季大会，全国・九州大会予選，地区別対抗戦）に出場できる。

また、登録者のメールアドレスが変更になっている場合等も正しく記入をお願いいたします。

②　選手の登録について

宮崎県ミニバスケットボール連盟と，宮崎県バスケットボール協会および日本バスケットボール協会に登録した選手のみが，県協会主催の大会（会長杯，フープスターサカイ杯，秋季大会，全国・九州大会予選，地区別対抗戦）に出場できる。

③　指導者の登録について

宮崎県バスケットボール協会主催の大会、及びそれに関わる地区予選に出場する際に提出する登録用紙（メンバー表）に記載してある「ヘッドコーチ」「アシスタントコーチ」のみ、指導者としてベンチ入りできる。**なお、Team JBA にてチーム登録を行う際に、指導者・審判員情報の資格の欄も ID まで入力し、指導者ライセンスと審判ライセンスについても正確に記入すること。次年度、新 Team-JBA に移行した場合は、ライセンスが登録されていない場合は承認されません。**

宮崎県バスケットボール協会Ｕ１２部会　審判部レジュメ

平成３０年５月２０日

１　審判部より

（１）　ローカル大会は、他のカテゴリーの県大会（初日、２日目は絶対）に組まない。

（２）　チームスタッフのコーチ、アシスタントコーチ、マネージャーは、登録された方のみがベンチに座ることができます。県大会では、試合によって、アシスタントコーチやマネージャーが入れ替わることはできません。

（３）　チームを指導する際、複数名で指導にあたるようにお願いします。これは、多くの目で選手を見取り、見届けるため、また、未来を担う指導者、審判員・コミッショナーの人財育成のためです。「かかわり」「つながり」がキーワードです。１人で見るには限界があります。未来の宮崎県のバスケットボールのためにも、複数名で指導にあたるようにお願いします。

（４）　ルール変更に対応してください。（別紙　JBA プレーコーリング・ガイドライン 20180201 修正）

・アンスポーツマンライクファウル

・ゲームの尊重

・トラヴェリング

（５）　帯同審判員の意識向上及び尊敬の念を高めるために、ローカル大会でも、審判員に謝金を渡すようにお願いします。謝金を捻出できない場合は、必ず登録されているコーチ・アシスタントコーチ、マネージャーが審判を行うようにお願いします。

（６）　ローカル大会などで、審判ができる状態であるのに、他のチームの方にお願いされる方がいらっしゃいます。その場合、コーチの方は、個人的に謝金を支払うようにお願いします。

２　平成２９年度の取組

６月　Ｄ級審判講習会

７月　ミニ連全国審判長会議（笠）　Ｃ級審査会（大学リーグ）

８月　Ｄ級審査会（宮崎工業高校練習ゲーム）Ｃ級審判講習会

９月　九州ミニバスケットボール連盟審判研修会（台風の影響により不参加）

１１月　審判研修会　D 級審査会（中学校練習ゲーム）

１２月　C・D 級審判講習会　C 級審査会（中学校地区対抗戦）　B 級審査会（クラブ 2 部男子）

１月　九州ミニバスケットボール大会（笠　児玉　竹下　岩元）

３月　全国ミニバスケットボール大会（児玉　井上）

3　宮崎県バスケットボール協会 U12 部会審判部組織について

4　日本公認審判員制度

5　審判とは

「運営」と「指導」「ゲームコントロール」⇒審判員がチームとなってレベルアップを図る！

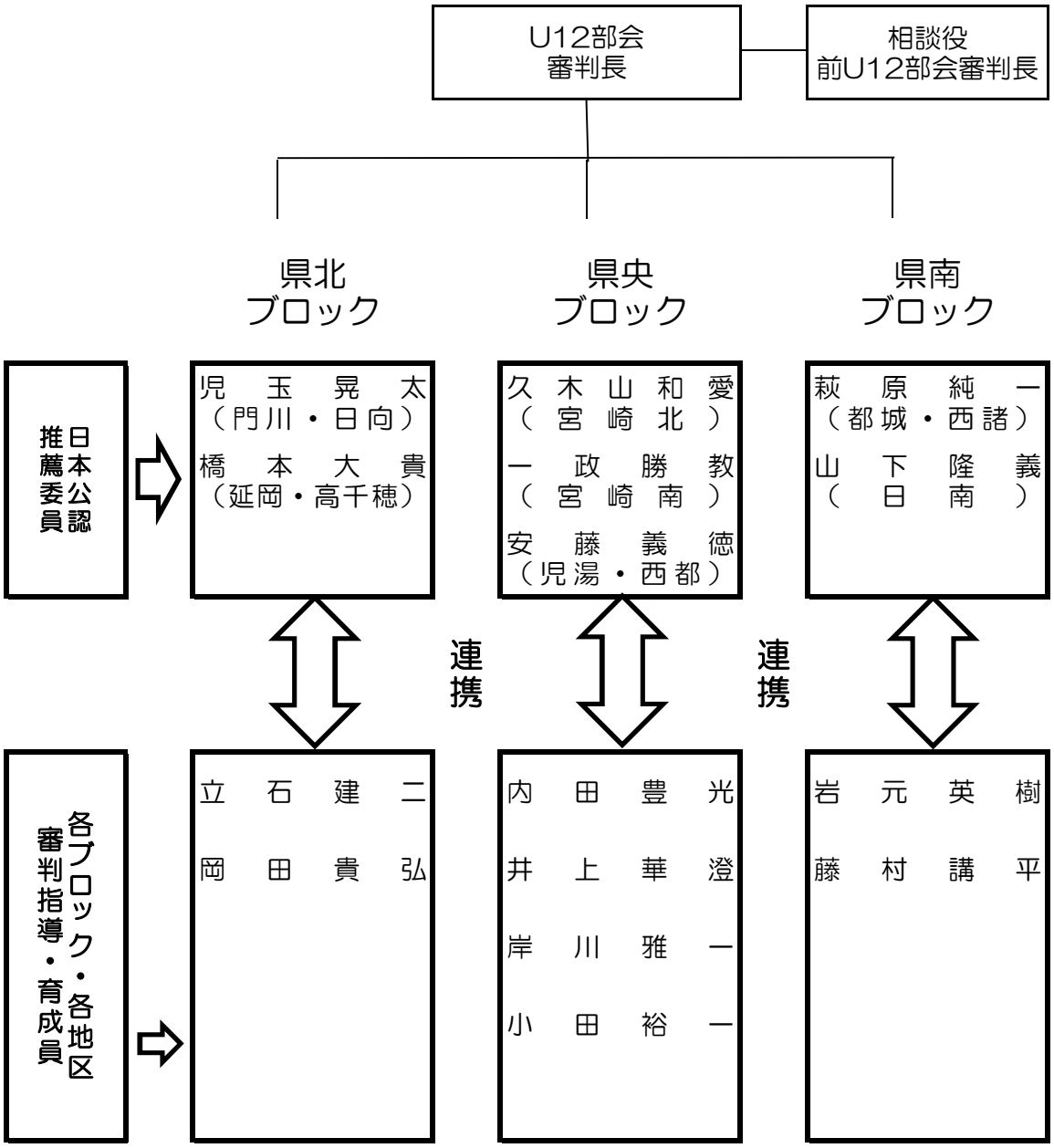
6　活動方針

「尊重（Respect)」＆「導く（Lead)」、「学び続ける（Keep Learning)」

7　審査会・講習会・研修会について

8　備考

平成30年度
宮崎県バスケットボール協会U12部会審判部組織図



B級指名強化審判員 2017年度以降新規B級審判員 ※　県内の他カテゴリー大会及び県内で開催される九州大会に協力	笠　真人　児玉晃太 藤村講平　小田裕一　井上華澄
B級審査会推薦審判員	3名以内　※審査希望の方募集
C級審査会推薦審判員	人数制限なし　※審査希望の方募集
D級審査会推薦審判員	人数制限なし　※審査希望の方募集
C・D級審査員	インストラクターC級
九州大会派遣予定	1年間の活動及び審判力を総合的に見て、理事長、県審判長と相談して決定
全国交歓大会派遣	原則、九州大会派遣者から2名

平成３０年５月２０日
宮崎県バスケットボール協会 U12 部会　審判部

総会資料

１　審判とは

審判は、規則を堅持してプレイヤーの足りないところを補いつつ、これに健全な方向を与えるとともに、そのゲームを公正にかつ円滑に運営することによって、すべての人に信頼されなければならない。　『バスケットボール競技規則　まえがきより抜粋』

バスケットボールの審判は、主審(レフェリー)と副審（アンパイア）が、プレイに応じて移動しながら、規則で定められていることを的確に適用して、スピーディーなプレイの一つひとつに正確な判定をくだし、適切な処置をしてゲームをスムーズに運営していかなければならない。

『オフィシャルズ・マニュアル　はじめにより抜粋』

審判はルールに対する違反について決定を下す権限を持っているが、ただ厳格に判定をくだすだけではいけない。プレイヤーの運動能力や技術に差があることを考慮に入れ、規則の適用は常に指導の心を加味して行うことを心にとめておかなければならない。

『ミニバスケットボール競技規則より　抜粋』

「運営」と「指導」　「ゲームコントロール」

２　活動方針

「尊重（Respect)」＆「導く（Lead)」,「学び続ける（Keep Learning)」

（１）　保護者の方へ

子ども達のために、「批判は禁物」です。お子さんの成長のために、親として人として、どんな姿を見せていくのかが大事です。

（２）　指導者の方へ

子ども達のことを考え、「審判の育成」に貢献しましょう。そのためには、ルールをよく学習しましょう。そして、「導く人」としてお手本を示すことが大事です。

＜第 43 条＞

「コーチは、マナーの面でもチームの指導者であるべきで、自らも見苦しい言動があってはならない。コーチが審判、テーブル・オフィシャルズ、相手チーム、自チーム等に対し、失礼な態度で接したり、言動などがあったりした場合は、厳しく罰するべきである。」

〈テクニカルファウルの対象及び対象になりそうな事例〉

・審判、テーブル・オフィシャルズ、相手チーム、自チームに対し、失礼な態度で接したり、失礼な態度で話しかけたりした場合
・審判に指をさし、判定に対して批判する。
・オーバーアクションで、アピールする。
・プレイ中に審判を呼び止めて、抗議する。
・子どもに指導しているようにみせかけて、批判しているような失礼な言動をする。
・子どもに対し「馬鹿」「アホ」「ボケ」などと人権を無視した言葉を発するなど。
・殴るような真似をすることや力ずくで恐怖を与えるようなこと
・試合中、子どもに対し恫喝した場合。（大きな声で、失敗を責めるようなこと。）

※　子どもには失敗する権利があります。完璧なプレイヤーはいません。挑戦したことに対して、指導者は、認め、励ましましょう。恫喝などして、子どもを委縮させるようなことは、自分のコーチングテクニックがないことを表しています。みんなで、声を掛け合っていき、周りの誰が見ても、気持ちの良い試合になるようにしましょう。

（3）E 級審判の方へ

子ども達の成長の為には、「よりよい審判」が必要です。一緒に努力してみませんか。

（4）C　D 級審判の方へ

年齢や経験よりも、まずは「志」が大事です。子ども達の成長のためにも、更に上を目指そうとしてみませんか。

（5）B 級審判の方へ

さらに信頼される審判になるために、他のカテゴリーや県外での研修にも積極的に参加し、学び続けましょう。また、「C　D　E 級」の方への指導や育成も日本公認 B 級保持者の役割として自覚し、責任をもって取り組みましょう。

3　公認審判員制度

（1）　E 級審判員・・・地区・市区郡町村規模の試合を務めることができる。 〈条件〉　①　地区の日本公認推薦員に E ラーニングを受ける旨を報告 ②　地区の日本公認推薦員は、U12 部会審判長に報告 ③　E ラーニングを受講し、登録・申請を行う。 ④　U12 部会審判長が承認
（2）　D 級審判員・・・<u>地区・市区郡町村規模の試合を担当することができる。特に優れた技能を有すると認められた者は、都道府県規模の審判員を務めることができる。</u> 〈条件〉　①　地区の日本公認推薦員に D 級を希望する旨を報告 ②　U１２部会審判長に報告 ②　D 級実技審査に合格し、D 級講習会を受講した人 ③　登録・申請を行い、U12 部会審判長が承認
（3）　C 級審判員・・・都道府県協会が主催する試合または、管轄する全ての試合を務めることができる。 〈条件〉　①　地区の日本公認推薦員に C 級審査を受ける旨を報告 ②　U12 部会審判長に報告 ③　C 級実技審査に合格し、C 級講習会を受講した人 ④　登録・申請を行い、U12 部会審判長が承認 <u>※　８月末日までに各地区の日本公認推薦員は集約し、U12 部会審判長に連絡</u>
（4）　B 級審判員・・・<u>ブロック規模の試合を務めることができる。</u> 〈条件〉　①　<u>C 級で、クラブ、学生、高校の試合を年間通じて吹いている方の中で,立候補した人、また、地区の日本公認推薦員及び U１２部会審判長から推薦された人</u> ②　B 級講習会に参加した人　フィットネステストに合格した人 ④　B 級実技審査会に合格した人 ⑤　登録・申請を行い、県審判長が承認 <u>※　５月中旬までに各地区の日本公認推薦員は集約し、U12 部会審判長に連絡</u> <u>※　B 級推薦は３名です。やる気のある人、若手審判員、女性審判員は是非。</u>

4　備考

（1）　<u>県大会では、男女のチームで同一の帯同審判（一指導者が男女の帯同審判）は認められません。</u>男女あわせて、1 人しか帯同審判がいない場合は、男女どちらかだけに帯同審判名を記入してください。<u>原則、コーチ、アシスタントコーチ、マネージャーの方が審判をするようにしてください。</u>

<u>※　県大会では、ノーワッペンの方・E 級審判員は、帯同審判としては認められません。</u>

（2）　<u>県大会の帯同審判については、要綱に準じる審判を準備する。要綱に準じる帯同審判がいない場合は、各チームで見つけお願いをする。旅費、謝礼、お弁当代などは各チームで対応する。</u>

（3）　視力低下がみられる選手については、ゴーグルなどを使用するようにお願いします。

（4）　割り当てについては、メールで連絡いたします。受信設定をお願いします。

平成30年度　宮崎県バスケットボール協会U12部会審判部年間計画

※　他カテゴリーの県大会に、ローカル大会を組まない！

月		大会・会議等	審判講習会 公認審査会等	県大会関係	備考
４月	上旬				
	中旬			南九州大会予選１４・１５	
	下旬			南九州大会２８・２９	
５月	上旬				
	中旬	総会			
	下旬			高校総体26～30	
６月	上旬	会長杯代表者会議		県民スポーツ祭２・３	
	中旬				
	下旬	会長杯			
７月	上旬				
	中旬	全国ミニバスケット ボール連盟審判長会議			
	下旬		B級更新講習会	中学総合22～24	中学総合体育大会中に開催
８月	上旬	交歓大会代表者会議			
	中旬		B級強化指名		
	下旬	交歓大会		高校1年25～27	
９月	上旬				
	中旬				
	下旬				
１０月	上旬				
	中旬		B級更新講習会	高校選抜予選14～22	高校選抜予選中に開催
	下旬			中学春季28～30	
１１月	上旬	秋季大会 全九代表者会議			
	中旬		B級更新講習会	高校新人11～13	高校新人中に開催
	下旬	全国九州大会宮崎予選			
１２月	上旬		B級審査会	全日本社会人3～10	
	中旬	地区別対抗		中学校地区別8～9	
	下旬				
１月	上旬				
	中旬	九州大会(熊本)		**高校春季19～27**	1/１２(土).１３(日).１４(月)
	下旬			**中学春季26～2/3**	
２月	上旬				
	中旬				
	下旬				
３月	上旬			南九州予選9～10	全九中学春季（宮崎）1～3
	中旬				
	下旬	全国交歓大会			**3/28（木）～3/30（土）**

事　　務　　連　　絡
平成３０年　４月　２日

ブロック長　各位

日本ミニバスケットボール連盟
審判規則委員長

ＪＢＡプレイコーリング・ガイドライン（20180201）適用に伴う
平成 30 年度全国審判長会議における確認事項について（報告）

平素より、当連盟の事業推進にあたり、ご理解とご協力を賜りありがとうございます。

さて、ＪＢＡプレイコーリング・ガイドライン（20180201）の適用について、平成 30 年 3 月 29 日開催のブロック長会議において確認事項とさせていただいた件につきまして、平成 30 年 3 月 31 日及び 4 月 1 日に開催された平成 30 年度全国審判長会議において、次のとおり確認がとれましたのでご報告させていただきます。

つきましては、ガイドラインの適用にあたり、貴管下都道府県ミニバスケットボール連盟所属審判員への周知について、ご対応くださいますようお願いいたします。

ＪＢＡプレイコーリング・ガイドライン（20180201）適用における確認事項

５．アンスポーツマンライクファウル

（４）ラストプレーヤーシチュエーション

① パスミス・パスカット等があってもボールコントロールが変わっていない場合のファウルはＮＦ。ただし、ボールにプレーせず正当なバスケットボールのプレーでないと審判が判断した場合はＵＦとする。

【確認事項】

・ボールコントロールが変わっていないため、オフェンス側の NF となることから、JBA 競技規則ではチームファウルによるフリースローは適用されないが、ミニバスケットボールにおいては、競技規則どおりチームファウルによるフリースローが適用される。

（５）ラスト 2 ミニッツシチュエーション

【確認事項】

・ミニバスケットボールの競技規則では、第 4 ピリオドもしくは各延長ピリオド残り 2 分間において、シュートが成功した後、タイマーが止まることはないが、残り 2 分を切った時点からガイドラインを適用することとする。

JBA プレーコーリング・ガイドライン（20180201 修正）

1．悪い手・腕・肘の整理（HAND-CHECKING 含む）

（1）基本的考え方

①オフェンス・ディフェンスのどちらかに、不当に有利・不利が生じないようにする必要があり、プレーヤーの FOM（Freedom of Movement：オフェンス・ディフェンス共にコート上を自由に動く権利）を確保し、クリーンでスムーズなゲームを提供する

②悪い手・腕・肘を放置すると、その後の試合（時間帯）でラフなプレーを引き起こす原因となるため整理する必要がある

ファウルの３原則

1）触れ合いの事実

2）触れ合いの責任　リーガルガーディングポジション・シリンダー、etc.

3）影響　オフェンスの R（リズム）S（スピード）B（バランス）Q（クイックネス）に影響のない触れ合いは取り上げない。**ハンドチェックについては、触れ合いの度合いで判断せず整理するべきプレーである → 軽い判定（チープなファウル）とは区別する**

③悪い手・腕・肘は、ディフェンスだけでなくオフェンスに対しても整理をする必要がある

④悪い手・腕・肘は、ディフェンスとオフェンスのリアクションではなくアクションに対して判定する必要がある。

（2）ディフェンスの悪い手・腕・肘（HAND-CHECKING 含む）

①ボールを持っているプレーヤーに、両手を使う**（ハンドチェックの適用）**

②ボールを持っているプレーヤーに、片手でも肘が伸びた状態で触れる**（ハンドチェックの適用）**

③ボールを持っているプレーヤーに、触れ続ける**（ハンドチェックの適用）**

④ボールを持っているプレーヤーに、短い時間であるが何回も触れる**（ハンドチェックの適用）**

⑤ポストディフェンスで、シリンダーを超えたアームバー

⑥オフェンスを手・腕・肘でロック（Lock）し止める

⑦ピック＆ロール等スクリーンプレーで、スクリーナーに対してすり抜けるために手・腕・肘を使う

⑧ピック＆ロール等スクリーンプレーで、スクリーナーの次の動きを妨げるため手・腕・肘を使う

（3）オフェンスの悪い手・腕・肘

①ボールを持ったプレーヤーが抜くために手・腕・肘を使ってディフェンスをロック（Lock）し止める

②オフボールのオフェンス（ポストプレー含む）が、ディフェンスの身体に対し腕を巻いて抑える

③オフボールのオフェンス（ポストプレー含む）が、手・腕・肘を使ってディフェンスの腕を巻く

④オフボールのオフェンス（ポストプレー含む）が、スペースを作りボールをもらうためにシリンダーを越えた手・腕・肘でディフェンスをロック（Lock）し止める

2．スクリーンプレー

（1）リーガルスクリーン

リーガルスクリーンとは、**1）スクリーナーが止まっていて**、**2）両足が床についた状態で**、**3）シリンダー内**で身体の触れ合いが起こるプレーのことである

（2）イリーガルスクリーン

①相手の動きにつれて、動いてスクリーンをかける（Moving Pick）

②止まっている相手のうしろ（視野の外）でスクリーンの位置を占めスクリーンをかける

③動いている相手チームのプレーヤーの進路上に、相手が止まったり方向を変えたりして触れ合いを避けられるだけの距離をおか

ずにスクリーンの位置を占めスクリーンをかける

④シリンダーを越えた手・腕・肘、そして足・お尻等、身体の一部を不当に使ってスクリーンをかける

3．ブロッキング・チャージング

（1）リーガルガーディングポジション

①ディフェンスプレーヤーが相手チームのプレーヤーに対して、**トルソー**（向かい合い、両足を普通に広げてフロアにつけている）を占めている状態

②リーガルガーディングポジションには、真上の空間の権利（**シリンダー**）も含まれる

（2）ブロッキング

①ボールを持っているかいないかに関わらず、相手チームのプレーヤーの進行（FOM）を妨げるイリーガルな身体の触れ合い

②ボールを持っている（保持・ドリブル）相手チームのプレーヤー対して、先にリーガルガーディングポジションを占めることができない状態で身体の触れ合いが起きた場合（ただし、RSBQ を考慮する必要がある）

③ボールを持っている相手チームのプレーヤーが、レイアップショット等でジャンプをするために最後のステップをした後に相手チームのプレーヤーが着地する場所で触れ合いが起きた場合

④**ドライブ等でインパクトが大きい触れ合いが起きた場合、明らかにオフェンスに責任がない時はディフェンスのファウルである**

（2）チャージング

ボールを持っていてもいなくても、無理に進行して相手チームのプレーヤーのトルソーに突き当ったり、押しのけたりする不当な身体の触れ合い

4．プロテクトシューター

①オフェンス側プレーヤーがジャンプショットのため正当なジャンプをした場合、着地場所を確保する権利がある。（オフェンス側プレーヤーが着地する時、ディフェンス側プレーヤーの足等が触れ合いを起こすことは怪我の危険性もあるファウルである）

関連ケース（キックアウト）

②オフェンス側プレーヤーがショットをする時、シリンダーを越えて必要以上に足や手などを広げ、リーガルなディフェンスに触れ合いを起こした場合はシューターのファウルとして判定する（ショット前はオフェンスファウル、ショット後はルーズボールファウルとしてプッシング）

5．アンスポーツマンライクファウル

アンスポーツマンライクファウルについては、下記（1）～（5）のクライテリアに該当した場合、試合中全ての時間帯（試合の終盤また得点差に関係になく）で適用し、アクション（起きた現象）のみで判断する。

（1）ボールに対するプレーではなく、かつ、正当なバスケットボールのプレーと認められないと審判が判断したプレー

①ユニフォームを掴む行為は UF とする

②肘を過度に使うコンタクトは、相手プレーヤーに重大な負傷に繋がりかねない危険な行為であるため UF。特に、首から上の顔面・頭へ肘を使ったコンタクトは非常に危険であるため DQ も判断基準とする

③肘を激しく振り回した場合は、ノーコンタクトでも TF の対象となる

（2）プレーヤーがボールにプレーしようと正当に努力していたとしても、過度に激しい触れ合い（エクセシブコンタクト、ハードコンタクト）と審判が判断したプレー

①ボールにプレーしている場合でも過度な接触とみなされたファウル

②手・腕による首から上のファウルは、選手の身を守るため危険なファウルと判断し、故意でなくても UF とする

③空中にいるオフェンスプレーヤーに対してディフェンスが入ってくる危険なファウル

（３）オフェンスが進行する中で、その進行を妨げることを目的としたディフェンスのプレーヤーによる必要のない触れ合いと審判が判断したプレー

※このルールはオフェンスのプレーヤーがショットの動作に入るまで適用される

①ボールに直接、正当にプレーしていないケース

②正当なバスケットボールのプレーと認められない不要な接触

③リーガルガーディングポジションから外れ、ボールに対してではないファウルをすること

④リーガルガーディングポジションで正当にディフェンスをしている時のイリーガルな触れ合いはノーマルファウル

⑤オフェンスがボールを進めるのを止めるためのファウル

（４）速攻に出ているオフェンスのプレーヤーとそのチームが攻めるバスケットの間にディフェンスのプレーヤーが全くいない状況で、その速攻を止めるためにディフェンスのプレーヤーが、そのオフェンスのプレーヤーの後方もしくは横から起こす触れ合いと審判が判断したプレー（ラストプレーヤーシチュエーション）

※このルールはオフェンスのプレーヤーがショットの動作に入るまで適用される

①パスミス・パスカット等があってもボールコントロールが変わっていない場合のファウルは NF。ただしボールにプレーせず正当なバスケットボールのプレーでないと審判が判断した場合は UF とする

②速攻でのレイアップ等で、AOS に対してのファウルは NF とする

③ラストのディフェンスがオフェンスの前にいる状況で、抜かれたあと、後ろからファウルをした場合は UF とする

（５）第４ピリオドもしくは各延長ピリオド残り２分の間で、ボールをアウトオブバウンズからスローインをするときに、まだボールが審判もしくはスローインをするプレーヤーの手にあるときに、コート上のディフェンスのプレーヤーが相手に起こした触れ合いと審判が判断したプレー（ラスト２ミニッツシチュエーション：L2M）

①オフェンスプレーヤーには適用されない

６．プレーヤー/コーチのテクニカルファウル

ゲームは両チームのプレーヤー、チームベンチパーソネル、審判、テーブルオフィシャルズなどすべての人たちの協力によって成立するものであることを理解することが重要である

（１）ゲームを尊重すること（Respect for the game）

※状況と内容を判断し、審判は注意・警告を与えることなくただちにテクニカルファウルを宣してもよい

①審判、テーブルオフィシャルズ、相手チームに対して失礼な態度で接すること

・威嚇や挑発行為

・継続的、もしくは大きなジェスチャーなどでゲームに対して異論を表現すること

・不適切な表現や言語

・ボールや身に着けているものなどを強く叩きつけたり、投げたりすること

・用具・器具を破損するおそれのある行為（リング支柱を叩いたり、看板を強く蹴るなど）

・観客に対して不作法にふるまったり、挑発するような言動をとること

②ゲームの進行を遅らせる行為

・バスケットを通過したボールに故意に触れること

・ボールがすばやくスローインされることを妨げること
・笛が鳴った後などで審判にボールを返さないこと

③ベンチの管理
・ゲームの手続き上の規則、運営・管理に関する規則に違反すること
・ゲームの進行や運営に支障をもたらすこと（ベンチエリアで立ち続けてゲームに対しての異論を表現するなどを含む）
・観客に対して不作法にふるまったり、挑発するような言動をとること

7．フェイク（FAKE A FOUL）

（1）基本的な考え方

オフェンス・ディフェンスともにファウルをされたようにみせかけ、ゲームに関係する人達を欺くプレーをなくす

（2）フェイクに対する対応

①フェイクが起きた責任エリアの審判がジェスチャー（片方の手のひらを２回招くように）を明確に示す（クルーで共有）
②ボールデッドで時計が止まった時に、該当選手及びベンチに対して、その近くにいる審判が速やかに明確に伝える
③フェイクが起きた後、ボールデッドで時計が止まる前に、同じチームの選手が再びフェイクをした場合は、２回目のフェイクという理解で TF を適用する
④「ノーコンタクトのフェイク」は Excessive Fake（あまりに過度なフェイク）として、ただちに、TF を宣する（一発）。またそれに準ずる過度なフェイクもダイレクトテクニカルの適用対象とする
⑤ディフェンス（または、オフェンスファウル）とフェイクが同時におきていると判断できる場合、ファウルを優先して判定する
⑥ディフェンス及びオフェンスファウルを宣した場合、フェイクのウォーニングはおこなわない
⑦オフェンス選手も、ファウルを受けたように見せるため倒れるなどのプレーはフェイクとする

（3）テクニカル時の対応

①選手に対して　１）手を上げ、時計を止める　　２）フェイクのジェスチャーを示す　３）テクニカルを示す
②TO に対して　１）チーム及び選手の番号を示す　２）フェイクのジェスチャーを示す　３）テクニカルを示す

フェイクのジェスチャー

Fake a foul signal　フェイク・ア・ファウル・シグナル
New “Raise-the-lower-arm” – Signal twice (Starting from the top)
（新）レイズ・ザ・ローアー・アーム
図のように腕で招くように２回シグナルをすることで、フェイクが起きたことを示す

フェイクが起きたことを確認

フェイクのジェスチャーを行う（２回）

８．トラベリング

（１）止まった状態でボールをコントロールしている場合

①ピボットフット（軸足）が確立されたあと、明らかにピボットフットを踏みかえること（**軸足の踏みかえ**）

②明らかにピボットフットがずれること（**軸足のずれ**）

③ドリブルを始めるとき、明らかにピボットフットが床から離れた後にボールをリリースすること（**突き出しの遅れ**）

（２）動きながら、足がフロアについた状態で、ボールをコントロールした場合

④動きながら、足がフロアについた状態でボールをコントロールした場合、フロアについている足は 0 歩目とし、その後 2 歩までステップを踏むことができる。その場合、1 歩目がピボットフットとなる。

⑤ ④の場合、ドリブルを始めるときは 2 歩目の足をフロアにつける前にボールをリリースする必要がある。

⑥ドリブルが終わる時も、④のステップが適用される。

⑦ ④⑥の場合、連続して同じ足（右→右、左→左、両足→両足）を使うことはできない。

※両足とは、ほぼ同時にフロアに足がついた状態。

（３）明らかに空中でボールをコントロールした場合

⑧次にフロアについた足が、ピボットフットとなる。

（４）その他のケース

⑨プレーヤーがボールを持ったままフロアに倒れたり、床に倒れた勢いでボールを持ったまま床をすべること、あるいは横たわったり座ったりしているプレーヤーがボールを持つことはバイオレーションではないが、その後転がったり、立ち上がることはトラベリングである。

⑩ボールを持って止まっているプレーヤーのピボットフットが決まった後に、さらに明らかにジャンプしどちらかの足がフロアについてからショットまたはパスをすることはトラベリングである。

９．ファイティング

コート上やコートの周囲で暴力行為が起こった時や起こりそうな時に、チームベンチエリアから出たチームベンチパーソネルに適用される

①暴力行為が起こった時や起こりそうな時にベンチエリアから飛び出してコートに入った場合など、その対象者にはディスクオリファイングファウルが宣せられ、失格・退場となる

②コーチとアシスタントコーチだけは審判に協力して争いと止める目的であればコートに入っても良い。

③ファイティングによりディスクオリファイングファウルはチームファウルに数えない

④IRS が稼働可能な場合、クルーチーフを中心に、何と誰を確認するべきなのかをクルー複数名で映像にて確認する

付則

2016 年 8 月	JBA プレーコーリング・ガイドライン作成
2017 年 7 月 14 日	３ブロッキング・チャージング、４プロテクトシューター、６プレーヤー/コーチのテクニカルファウル、８トラベリング、９ファイティング、以上 5 項目追加
2017 年 8 月 26 日	４プロテクトシューター追加、５アンスポーツマンライクファウル改訂
2017 年 9 月 15 日	５アンスポーツマンライクファウル改訂（2017FIBA ルール変更サマリー対応）
2018 年 1 月　8 日	８トラベリング改訂（2017FIBA・2018JBA ルール対応）
2018 年 2 月　1 日	５アンスポーツマンライクファウル修正（2018JBA ルールブック対応）、８トラベリング【参考資料 1】追加 ただし、5.8 の国内適用は 2018 年 4 月 1 日

【ガイドライン参考資料１】

トラベリングについて（FIBA新ルール2017/8/15対応）

【１】基本的な考え方

1	動きながらフロアに足がついた状態でボールをコントロールした場合、コントロールをした後に2歩までステップを踏んでも良い（0歩目の適用）。その場合、ステップは2歩までの原則は変わらないため、0歩目→1歩目→2歩目とし、1歩目→2歩目→3歩目とカウントはしない。※0歩目適用の場合、1歩目がピボットフットとなる。	
2	ドリブルが終わる時も、上記【1】1の考え方が適用される。	
3	上記【1】１.2の場合、明らかに空中でボールをコントロールしたあと、フロアに足をつけた場合は、そのついた足が1歩目（ピボットフット）となる。	
4	ドリブルをする場合	
	①	止まった状態からドリブルをする場合、ピボットフットがフロアから離れる前にボールをリリースしなければならない。
	②	0歩目が適用され一連の動きの中でのドリブルの場合、2歩目がフロアにつく前にボールをリリースしなければならない。ただし、１歩目のピボットフットが確立した後に止まった状態ができた場合は、上記【1】4①が適用される。
5	ショット及びパスの場合は、2歩目のステップ後にボールをリリースしてもよい。ただし、2歩目でジャンプした場合、次に足がフロアにつく前にショットおよびパスをしなければならない。	
6	同じ足（右→右、左→左、両足→両足）を連続して使うことはできない。	
7	両足とは、ほぼ同時にフロアに足がついた状態である。	

【２】リーガルな足の使い方（〇印はピボットフット）

（１）0歩目を適用しない場合（従来のステップ）

		1歩目	2歩目	備考
1	①	〇右足	左足	
	②	〇左足	右足	
2	①	両足（〇右足）	左足	1歩目が両足の場合、片足がフロアから離れた時、フロアについているもう片方の足がピボットフットとなる
	②	両足（〇左足）	右足	
3	①	〇右足	両足	2歩目後にステップはできない
	②	〇左足	両足	

（２）0歩目を適用した場合（新ルール適用によるステップ）

１．1歩目で止まった場合

		0歩目	1歩目	2歩目	備考
4	①	〇右足	左足		0歩目を1歩目（ピボットフット）とするため、左図2歩目は3歩目となる
	②	〇左足	右足		
5	①	両足（〇右足）	左足		
	②	両足（〇左足）	右足		
6	①	右足	両足（〇右足）	左足	1歩目を両足で止まった場合、2歩目が使える 右(or左)足→両足の時点で連続した同じ足ではない
	②	左足	両足（〇左足）	右足	

２．2歩目を使った場合

		0歩目	1歩目	2歩目	備考
7	①	右足	〇左足	右足	
	②	左足	〇右足	左足	
8	①	右足	〇左足	両足	2歩目の両足後はステップはできない
	②	左足	〇右足	両足	
9	①	両足	〇左足	両足	
	②	両足	〇右足	両足	
10	①	右足	両足（〇右足）	左足	右(or左)足→両足の時点で連続した同じ足ではない
	②	左足	両足（〇左足）	右足	

各チーム各位

平成 30 年 5 月 20 日
宮崎県バスケットボール協会 U12 部会
総務部　事務局

携帯メールアドレス登録のお願い

事務費の経費削減と負担軽減のために，県 U12 部会からのお知らせは，各チームに携帯メールでお知らせをしています。つきましては，各チームの携帯メールをスポメルに登録していただきますよう，お願いします。

＜携帯メールアドレス登録までの流れ＞

① 各自の携帯電話から，【m@spomail.jp】に空メールを送って下さい。
（右の QR コードも利用できます。）

② 送信後にリターンメールが３分以内で来ますので，そこに書いてあるアドレスに接続をして下さい。

その後、会員情報の入力となります。チーム番号は、「06905」です。

お名前：チーム名とお名前を入力して下さい（例）延岡男子 会長山本太郎
フリガナ（全角カタカナ）:（例）ノベオカダンシ　ヤマモト
性別：どちらかを選んで下さい
生年月：さば読み OK
郵便番号：入力して下さい
住所：県名を選択。下段は市町村名までで OK です。
緊急連絡先番号：適当でいいですが，桁数が合わないとエラーになります。
（例）09000000000
携帯 E メール：自動で入力されます（例）xxx@docomo.ne.jp
予備メールアドレス：入力しなくてかまいません。
スポメル会員№：自動で入力されます。
パスワード：数字のみ４～８文字で（忘れないように）　メモ＿＿＿＿＿＿＿＿

③ 以上で，登録完了です。
※パソコンからのメールを受信拒否にしている場合は，
【spomail.jp】からのメールを受信できるように設定して下さい。

問い合わせ先
宮崎県バスケットボール協会
U12 部会総務部　事務局

E-mail: root@minibas.org
H　P : http://miyazakiken.minibas.org/

＜県大会申し込みまでの流れ＞

① 登録者の携帯メールに，県 U12 部会からのお知らせが届きます。

↓

② メールの案内に従い，パソコンで県 U12 部会の HP で大会要項や申込用紙をダウンロードして下さい。

↓

③ ダウンロードした申込用紙に必要事項を記入して，県 U12 部会にメールの添付ファイルとして，送信して下さい。

↓

④ 総会で示された振込方法にしたがって，参加料を振り込んで下さい。

↓

⑤ その他の詳しいことは，代表者会議や HP 等でお知らせいたします。

＜困ったときは？＞

Q 急にメールが届かなくなったのですが？

A 携帯メールのセキュリティ（迷惑メール対策）を変更すると，メールが届かなくなることがあります。【spomail.jp】からのメールを受信できるように設定して下さい。

Q チームの代表者が携帯電話を持っていませんが？

A 携帯メールの登録者は，必ずしもチームの代表者である必要はありません。各チームから最低１名以上，携帯メールを受け取れる人が，登録していただければ結構です。

Q 携帯は持っていますが，パソコンは持っていませんが？

A 携帯メールで連絡を受け取った人が，パソコンを持っている人に連絡内容を伝えて下さい。チーム内でそのような連絡体制を作っていただくことが必要となります。

Q ２名以上登録してもかまいませんか？

A 連絡を確実にするために，２名以上何名登録していただいても結構です。

Q パソコンのメールアドレスでもよいのでは？

A パソコンのメールだと，メールの確認が遅れることがありますので，できれば携帯のメールの方が望ましいと考えていますが，パソコンのメールをスマホでチェックする方であれば，パソコンのメールでもかまわないと思います。複数登録すれば万全です。

Q 登録にはお金がかかりますか？

A 登録自体は無料ですが，メール受信に対してのパケット通信料などは，各自でご負担下さい。

Q メールの配信を解除したいのですが。

A 配信解除は，http://spomail.jp/top.html の「メンバーログイン」してから「選択したチームより削除」を選択して下さい。

第３１回会長杯（県大会）に出場できる各地区のチーム数（リーグ別）の決定について

会長杯（県大会）に出場できる、リーグ別の各地区のチーム数については、30 年度より以下の算出方法で決定する。

１　各地区の男女別のチーム数（ＪＢＡ登録の選手が 10 人以上で地区予選に出場）を確認する。

２　男女別の「地区のチーム数」÷「全体のチーム数」の割合を計算し、さらに、「16」（会長杯に出場できる全チーム数）×割合の数値を算出する。

３　その数値にもとづき、Ⅰ部リーグのチーム数を決める。

４　のこったチーム数を基に、Ⅰ部リーグと同様にⅡ部リーグのチーム数を決める。

男女別のチーム数と計算した数値については、以下の通り。

地　区　名	男子	１６×割合の数値	女子	１６×割合の数値
延　　岡	7	2.153846154	4	1.6
日　　向	3	0.923076923	6	2.4
西都・児湯	5	1.538461538	5	2
宮崎北	１２	3.692307692	5	2
宮崎南	１０	3.076923077	9	3.6
都城東部	8	2.461538462	6	2.4
都城西部	7	2.153846154	5	2
全　　体	５２		４０	

小数点以下を切り上げの場合も、切り捨ての場合も、小数点以下の数値の大きさで決まる。この考え方より、男子の場合以下の通りとなる。すべて切り捨てて考えると、延岡２、日向０、西都・児湯１、宮崎北３、宮崎南３、都城東部２、都城西部２となる。これを合計すると１３チームとなり、まだ３チーム分枠があるので、小数点以下の数値が大きい順で「日向」「西都・児湯」「宮崎北」の３地区が１チーム増となる。

同じ考え方で、女子は、すべて切り捨てて考えて合計１４チーム。「宮崎南」「延岡」の２地区が１チーム増で、延岡２、日向２、西都・児湯２、宮崎北２、宮崎南４、都城東部２、都城西部２となる。

Ⅱ部については、Ⅰ部出場のチーム数を差し引いて、男子３６チーム、女子２４チームをもとに、Ⅰ部と同様に算出した。Ⅱ部までに入れなかったチームはⅢ部となり、１０人に満たないチームはⅣ部となる。

地　区　名	男子Ⅰ部	男子Ⅱ部	女子Ⅰ部	女子Ⅱ部
延　　岡	2	2	2	1
日　　向	1	1	2	3
西都・児湯	2	1	2	2
宮崎北	4	4	2	2
宮崎南	3	3	4	3
都城東部	2	3	2	3
都城西部	2	2	2	2
全　　体	16	16	16	16

第 32 回宮崎県会長杯ミニバスケットボール交歓大会実施要項

１　大　会　名　　第 32 回宮崎県会長杯ミニバスケットボール交歓大会
２　主　　催　　一般社団法人宮崎県バスケットボール協会
３　主　　管　　一般社団法人宮崎県バスケットボール協会 U12 部会
４　後　　援　　株式会社大阪フォトサービス　　日本教育シューズ協議会
５　協　　力　　株式会社モルテン
６　目　　的（１）　小学生のバスケットボールの技術の向上と選手相互の親睦を図る。
　　（２）　平成 30 年度の県交歓大会における参加リーグを決定する。
７　期　　日　　平成３０年６月２３日（土）、２４日（日）、３０日（土）、７月１日（日）
８　会　　場　　延岡市民体育館、山田体育館、高崎体育館、山之口体育館、清武体育館、アリーナ国富
　　綾町立体育館、宮崎市総合体育館
９　役　　員
（１）大　会　役　員
　大会会長　　北郷　純一郎
　大会副会長　　神戸　博明　上元　康正　佐多　裕之　山川　裕彦
　大会役員　　米田　史彦　西田　次良　金本　博　谷山　祥一　栗栖　健治　佐藤　真司
　　石川　祐二　堀内　泉
　大会委員長　　河野　光治
　大会副委員長　　兒玉　哲美　岩元　真史
（２）競　技　役　員
　総務委員長　　上米良　剛
　財務委員長　　福田　紀代美
　接待委員長　　北林　順子
　式典委員長　　外村　哲史
　審判委員長　　笠　真人
　審判委員　　児玉　晃太
　ＴＯ委員長　　川崎　健
　ＴＯ委員　　外山　和彦
　競技委員長　　浅利　敏彦
　会場委員長　　安藤　正弘
　総務・競技委員　　本薗　忠士　堀内　幸　岡田　美菜子　井上　華澄　久保　真幸　上園　真輝
　　谷口　知美　久木山　和愛　堀内　豊　酒井　朋弘　内山　大　岩切　勇二　安藤　美徳
　　小泉　智貴　甲斐　修二　山川　和彦　富永　紘光
１０　チーム編成　　コーチ１人、アシスタントコーチ１人、マネージャー１人、保護者代表２人、選手１５人以内とする。（但し、大会１週間前までに日本バスケットボール協会への登録申請済み選手とする。）
　　Ⅰ部～Ⅲ部リーグ（男女混成及び１０名未満のチームは出場できない。）
　　Ⅳ部（オープン）リーグ　５名～９名のチームの出場を認める。
　　年度途中に１０名を満たした場合は、Ⅲ部リーグに編入する。
１１　競技方法　　（１）地区予選の順位によりⅠ部～Ⅲ部に分け、リーグ戦を実施する。
　　（２）予選リーグと決勝リーグを行う。
　　（３）１０名に満たないチームによるオープンリーグ（Ⅳ部）を設ける。
１２　競技規則　○　　日本バスケットボール協会ミニバスケットボール競技規則による。
　　ただし、試合時間は次の通りとする。
　　５分－１分－５分－（３分）－５分－１分－５分　とする。
　　※　ＴＯの際にはルールを熟知した指導者もしくは保護者が子どもたちの後方に必ず立つ。
　　○　ゾーン DF は禁止とする。また、全試合、それを判定するためのコミッショナーをおく。コミッショナーは大会役員及び審判, 各チーム指導者が行う。規則はＪＢＡから出ている「マンツーマンディフェンスの基準規則」に則る。
　　○　審判の配置は、県ミニ連審判部がその原案を作成し、県協会審判長の承認のもとに行う。
　　○　１チームにつき１名、必ず帯同審判を出す。そのライセンスはＤ級以上、または、審判委

員長がその技術を認めたＥ級とする。チームに該当者がいない場合は、そのチームの責任で前述のライセンス以上の帯同審判を依頼し確保する。なお、それらの帯同審判は、チームの勝ち負けに関わらず、大会全日程で審判ができる者に限る。

１３　使　用　球　　人工皮ボールを使用する。

１４　経　　費　　参加料は以下の通り。

Ⅰ・Ⅱ部リーグ　15，000　円、Ⅲ・Ⅳ部リーグ　6，000円

※チームの試合参加に要する経費はチーム負担とする。

１５　参加申込　　「参加申込」及び「参加料納付」については、TeamJBA のシステムより行う。

１６　代表者会議　　代表者会議は行わない。連絡事項は、HP にて知らせるものとする。

１７　そ　の　他

（１）大会パンフレットは作成しない。その代わりに、パンフレットのデータを出場申し込みのアドレスに返送するので、各チームで必要な部分を印刷して使用すること。

※　パンフレット掲載に当たり、各チームで了解を得ておくこと。

（２）参加チームはスポーツ障害保険に加入していること。選手のけがについては各チームで処理すること。万一、事故等が起こっても、主催者側は責任を負わない。

（３）会場使用については下記のことを十分に注意することとする。

○　体育館シューズ（バスケットシューズ）と外ばきのシューズは区別すること。

○　体育館のはしごに登る等、危ない行為は絶対にさせないこと。

○　各会場、指定された場所のみで応援すること。なお、鳴り物は禁止とする。

○　チームで出したゴミ（弁当殻、飲み物、たばこの吸い殻など）はチームで必ず持ち帰ること。

○　会場での火気の使用やコンセント等の無断使用は厳禁である。

○　学校は敷地内禁煙である。

※　上記の事項が守られない場合には、該当チームに没収試合等の厳しい処置が下される。

（５）試合中の水分補給は、ベンチ入りが認められている１８名すべて、必ずシート上の椅子に着席した状態で行う。また、水の入ったバケツのフロアー（ベンチを含む）への持ち込みは不可。

（６）駐車場は各チーム５台までとし駐車券を発行する。バス等・駐車券のない自動車は他の駐車場を各自・各チームで確保すること。

（７）本大会の成績を県交歓大会の組み合わせに反映する。また、各部リーグの上位チームと下位チームの入れ替えを行う。

（８）業者によるチームの写真撮影は、自分のチームの試合前に行う。

（９）開会式は行わないが、優勝旗とカップ返還及びレプリカ贈呈を前年度優勝チーム（男子：W明和、女子：都城東）の初戦の試合前に行う。

(10) 組み合わせ表の番号の若いチームが、淡色のユニホームを着用し、ベンチはＴＯに向かって右側とする。

(11) 駐車可能時刻を８時２０分から。フロアーでの練習は会場準備ができ次第とする。

(12)　試合時間

第 1 試 合	9:00
第 2 試 合	9:50
第 3 試 合	10:40
第 4 試 合	11:30
第 5 試 合	12:20
第 6 試 合	13:10
第 7 試 合	14:00
第 8 試 合	14:50

※　試合が延びた場合、１０分後に次の試合を開始する（ただし、各チームの初戦の場合は両チームの写真撮影から１０分後）。そのため、予定時刻が変わることがあるので、延びた試合以降の各チームは注意すること。）

(13)　試合日と試合会場

【男子】	Ⅰ部	Ⅱ部	Ⅲ部・Ⅳ部
６月２３日（土）	延岡市民体育館	山田体育館	清武体育館
６月２４日（日）			
６月３０日（土）	アリーナ国富	綾町立体育館	清武体育館

【女子】	Ⅰ部	Ⅱ部	Ⅲ部・Ⅳ部
６月２３日（土）	高崎体育館	山之口体育館	
６月２４日（日）			
６月３０日（土）			
７月　１日（日）			宮崎市総合体育館